

## 保健医療サービスの知識等

基礎問題 26 ～ 問題 40

総合問題 41 ～ 問題 45

**問題 26** 次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 高齢者は体内の水分貯蔵量が多いので、脱水が起こりやすい。
- 2 廃用症候群の病態の一つである起立性低血圧の予防には、立位訓練が有効である。
- 3 低栄養は、必要な量のたんぱく質やエネルギーが摂れていない時に起こる。
- 4 脳の損傷により発症する高次脳機能障害では、記憶障害が起こることはない。
- 5 脊髄小脳変性症は、運動失調が主症状で、ゆっくりと進行する神経変性疾患である。

**問題 27** 次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 脂質異常症や糖尿病は、動脈硬化を引き起こすリスクの一つである。
- 2 狭心症は、冠動脈が血栓により閉塞され、心筋が壊死し、心臓の機能が低下する。
- 3 脳塞栓は、心臓から血栓が動脈の流れに沿って脳に達し、血管を閉塞して起きる。
- 4 心不全による呼吸困難時は、端座位にすると楽になる。
- 5 高齢者におけるてんかんは、脳血管障害や頭部外傷によるものが多い。

**問題 28** 糖尿病について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 生活習慣病としての糖尿病は2型と言い、インスリン作用が相対的に不足している状態である。
- 2 糖尿病の症状には、口渇、多飲、多尿などがあり、高齢者は若年者に比べて、症状が顕著に現れる。
- 3 早期発見や治療などを怠ると、合併症として、神経障害、網膜症、腎症が起きる。
- 4 栄養管理指導方法として、摂取エネルギーを十分確保し、食物繊維の摂取を制限する。
- 5 体重の急激な増加は、糖尿病の悪化を疑う必要がある。

**問題 29** 次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 関節リウマチは、就寝時の手のこわばりや左右非対称に進行する関節の腫れなどがみられる。
- 2 骨粗鬆症は、骨密度が減少し骨折しやすい状態で、運動不足なども原因となり、女性に多い。
- 3 骨折の原因となる転倒は、寸法の合わない杖、歩行器や、これらの誤った使い方などにより起きる。
- 4 変形性膝関節症は、必要に応じて、膝周囲筋の強化などリハビリテーションが有効である。
- 5 脊柱管狭窄症は、脊椎椎体後面を上下に走る後縦靭帯の骨化により、脊柱管が狭くなることで起きる。

**問題 30** 次の組み合わせのうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 閉塞性動脈硬化症（ASO） —— 間欠性跛行
- 2 シャイ・ドレーガー症候群 —— 自律神経症状
- 3 メニエル病 —— 水晶体白濁
- 4 機能性の便秘 —— 大腸がん
- 5 帯状疱疹 —— 水痘（みずぼうそう）

**問題 31** 検査値などについて適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 肝機能において、GOTは加齢により上昇し、肝硬変により減少する。
- 2 感染症を患うと、CRP（C反応性蛋白）は減少する。
- 3 加齢とともに、赤血球数は減少し、貧血が起こりやすくなる。
- 4 ホルター心電図（24時間心電図）により、通常の生活をしながら、不整脈の詳細を検査することが可能である。
- 5 呼吸器機能は、加齢とともに、肺活量、1秒量、1秒率、残気量ともに減少する傾向がある。

**問題 32** 次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 食事中にむせるようになった者は、直ちに経口摂取を中止し経管栄養に移行する。
- 2 食事後すぐの臥床は、食物が逆流して誤嚥性肺炎を起こすことがあるので避ける。
- 3 高齢者は、夜間（中途）覚醒が増加するので、睡眠薬を積極的に活用する。
- 4 口腔ケアは、唾液の分泌や味覚の回復、嚥下反射や咳反射の改善、促進につながる。
- 5 化学的清掃法は、含嗽剤によるうがいに相当し、機械的清掃法の補助と考える。

**問題 33** 高齢者の精神障害について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 老年期うつ病にある者に対しては、意欲を高めるため励ますことが有効である。
- 2 せん妄は、意識障害に加えて錯覚、幻覚などがみられるが、興奮状態は伴わない。
- 3 老年期神経症の治療は、一般的に支持的精神療法や薬物療法が用いられる。
- 4 不安神経症は、心悸亢進、発汗、息苦しさを伴う不安発作がみられる。
- 5 老年期パーソナリティ障害は、治療は困難だが、精神療法や環境調整を試みる。

**問題 34** 薬剤に関する次の記述のうち適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 薬疹は、薬剤使用后1～2時間後に起こり、原因の薬剤を中止する必要がある。
- 2 狭心症の発作が起きた場合には、ニトログリセリン（ニトロ製剤）を投与し、舌下で溶かす。
- 3 非ステロイド性消炎鎮痛薬の副作用には、口渇、便秘、排尿困難、心拍数増加などがある。
- 4 先発医薬品より値段が安い後発（ジェネリック）医薬品は、できる限り使用を控える。
- 5 パーキンソン病の治療薬であるL-ドパ（ドーパミン製剤）を長期間使用して、突然服用を中止すると、高熱、意識障害、著しい筋固縮などを生じることがある。

**問題 35** 栄養・食生活に関する次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 食事バランスガイドとは、主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の、1日分の摂取目標である。
- 2 腎不全など慢性腎臓病の食事療法は、腎機能の低下の程度に応じて、ナトリウム、たんぱく質を制限する。
- 3 身体の成分組成において、高齢者は、若年者と比較して、脂肪の構成割合が低い。
- 4 老年症候群の一つでもある高齢者の味覚障害は、味を濃く感じることが多い。
- 5 骨粗鬆症の予防には、カルシウムの吸収を促進するビタミンDを多く含む食品をとる。

**問題 36** 在宅での医療管理について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 食事がまったくとれない糖尿病患者は、自己判断でインスリン製剤の自己注射を中止してよい。
- 2 モルヒネなどの医療用麻薬の副作用である便秘や吐き気、嘔吐への対応策はないので、患者には我慢してもらおう。
- 3 自然排尿が困難な者が装着する留置カテーテルにおいては、感染の危険性が高い状態であるので感染症に気をつける。
- 4 気管切開をして人工呼吸器を装着している場合、カフエアーの交換時に、気管内、口腔内の吸引を十分に行う。
- 5 在宅成分栄養経管栄養療法では、経管栄養食の注入速度に注意を要し、下痢をしている場合は、注入速度を速くする。

**問題 37** 感染症について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 高齢者は免疫力の低下により、若年時に罹患した肺結核を再発する可能性がある。
- 2 輸血歴にかかわるC型肝炎ウイルスが原因で、肝硬変を患うケースが増えている。
- 3 ノロウイルスは、人の小腸粘膜で増殖するウイルスで、特に夏に流行する。
- 4 敗血症は、ショック、呼吸困難、乏尿などが主症状で、血液培養により確定診断を行う。
- 5 膀胱炎をはじめとする尿路感染症は、高齢者に最も多い感染症だが、腎不全を来すことはない。

**問題 38** 次の記述について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 3-3-9度方式（Japan Coma Scale）は、評価数値が小さくなるほど意識レベルが低いことを示す。
- 2 誤嚥による窒息を防ぐため、心窩部を強く圧迫し、上気道を閉塞した異物を吹き飛ばす方法（ハイムリック法）がある。
- 3 高齢者における入浴中の急死は、冬場に多い。
- 4 黒い便をみたら、胃潰瘍など上部消化管出血を考える必要がある。
- 5 心肺蘇生のABCとは、AED（自動体外式除細動器）の操作方法を指す。

**問題 39** 訪問看護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 訪問看護の業務には、療養上の世話や診療の補助は含まれない。
- 2 特別指示書が出た場合、訪問看護の提供ができない。
- 3 指定訪問看護事業所の看護職員が、訪問介護事業所と連携し、たんの吸引等が必要な利用者にかかる計画の作成や訪問介護員に対する助言等の支援を行った場合、看護・介護職員連携強化加算の対象となる。
- 4 介護老人保健施設は、訪問看護の見なし指定を受けることができる。
- 5 訪問看護ステーションの管理者は、保健師または看護師でなければならない。



**問題 40** リハビリテーションに関する次の記述のうち正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 訪問看護ステーションには、理学療法士，作業療法士，または言語聴覚士を配置しなければならない。
- 2 訪問リハビリテーションは、病院，診療所，介護老人保健施設で指定を取得できる。
- 3 通所リハビリテーションの利用に際しては、必ずしも医師の指示を必要としない。
- 4 通所リハビリテーションにおける短期集中個別リハビリテーション実施加算は、リハビリテーションマネジメント加算を算定していない場合でも、算定できる。
- 5 要介護3以上の利用者に、計画的な医学的管理のもと通所リハビリテーションを提供した場合、重度療養管理加算を算定できる。

**問題 41** 短期入所療養介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 居宅サービス計画が作成されている場合は、居宅サービス計画に沿った短期入所療養介護計画を作成し、サービスを提供しなければならない。
- 2 介護支援専門員が必要と認め、居宅サービス計画に位置づけられていない緊急利用者の受け入れをした場合、利用開始から3日を限度に、緊急短期入所受入加算が算定できる。
- 3 看護、医学的管理を目的としているため、家族の休養・介護負担軽減を目的とした利用はできない。
- 4 介護予防短期入所療養介護で提供されるリハビリテーションは、生活機能の維持・向上に向けた取り組みが求められる。
- 5 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成において、短期入所療養介護および短期入所生活介護を利用する日数が、要介護認定の有効期間のおおむね半数を超えないようにしなければならない。

**問題 42** 高齢者の全身状態に関する次の記述のうち適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 心筋梗塞による胸痛は発作性で、一般的に5分から10分以内で終わる。
- 2 激しい頭痛や嘔吐、首筋の硬直がある場合、くも膜下出血の疑いがある。
- 3 不整脈（心房細動）は、心臓内に血栓が生じやすく、血栓がはがれて脳血管を塞ぐ脳血栓を起こしやすい。
- 4 筋萎縮性側索硬化症は、一般的に、身体の中心から手先に向けて骨格筋の萎縮が進行する。
- 5 摂食不良や下痢、発熱、高血糖状態が、脱水を引き起こすこともある。

**問題 43** 褥瘡に関する次の記述のうち適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 圧迫，不潔，湿潤，摩擦，栄養不良が原因となり，1～2日のうちに発症する。
- 2 皮膚の発赤が見られる場合，褥瘡の発生，悪化を防ぐために入浴は避ける。
- 3 褥瘡予防のために，高タンパク，高カロリー，高ビタミンの栄養補給に努める。
- 4 褥瘡予防のための体位変換は，6時間ごとに行えば十分である。
- 5 肩甲骨や腸骨部は，一般的に褥瘡発生の可能性が低い。

**問題 44** 認知症に関する次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 外傷性疾患や中毒性疾患が，認知症を引き起こすことがある。
- 2 血管性認知症は，記憶障害が重い一方で，判断力は保たれているなど症状にむらがある。
- 3 アルツハイマー病（アルツハイマー型認知症）は，器質性精神障害の一種であり，CTスキャンやMRIなどによる脳萎縮の存在から診断する。
- 4 ピック病（前頭側頭型認知症）の症状として，幻視やパーキンソン症状が挙げられる。
- 5 妄想や徘徊，不潔行為などの周辺症状は，介護により軽減することができないので，医療での対応を優先する。

**問題 45** ターミナルケアに関する次の記述のうち適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 がんの場合、急速に身体機能が低下していくことがあるので、早期にベッドを導入するなど、必要な支援を行う。
- 2 ターミナルケアでは専門的な医学知識が問われるため、訪問介護やボランティアの活用を検討することはない。
- 3 家族への死の教育の目標は、家族の不安や戸惑いを解消しながら、同伴者として最後まで安心してそばに寄り添うことを可能にすることである。
- 4 開始期から終末期、臨死期まで、1日も入院せずに在宅で看取ることを目指す。
- 5 臨死期などでは、身体の変化や緊急時の連絡方法、死亡確認の方法など、家族に対して看取りの準備教育を行う。